

電気電子情報工学科

Faculty of Engineering

持続可能な低炭素社会や安全・安心な情報社会という
未来社会の基盤を築く



□学科のポイント

電気工学に始まり、歴史とともに分化・発展してきた通信工学、半導体工学、計算機工学、情報工学。電気電子情報工学科は、現代社会を支えるこれらの分野をカバーし、サイバー空間でモノ・ヒト・コトがネットワーク化される「第4次産業革命」をけん引する先駆的な研究者・技術者を養成します。安全・安心な社会を創造するための「電気・通信設備、情報セキュリティ技術」、持続可能な低炭素社会を実現するための「デバイス技術や制御・伝送システム」などを体系的に学ぶことで、分野横断的な技術力と高い専門性を身につけることができます。



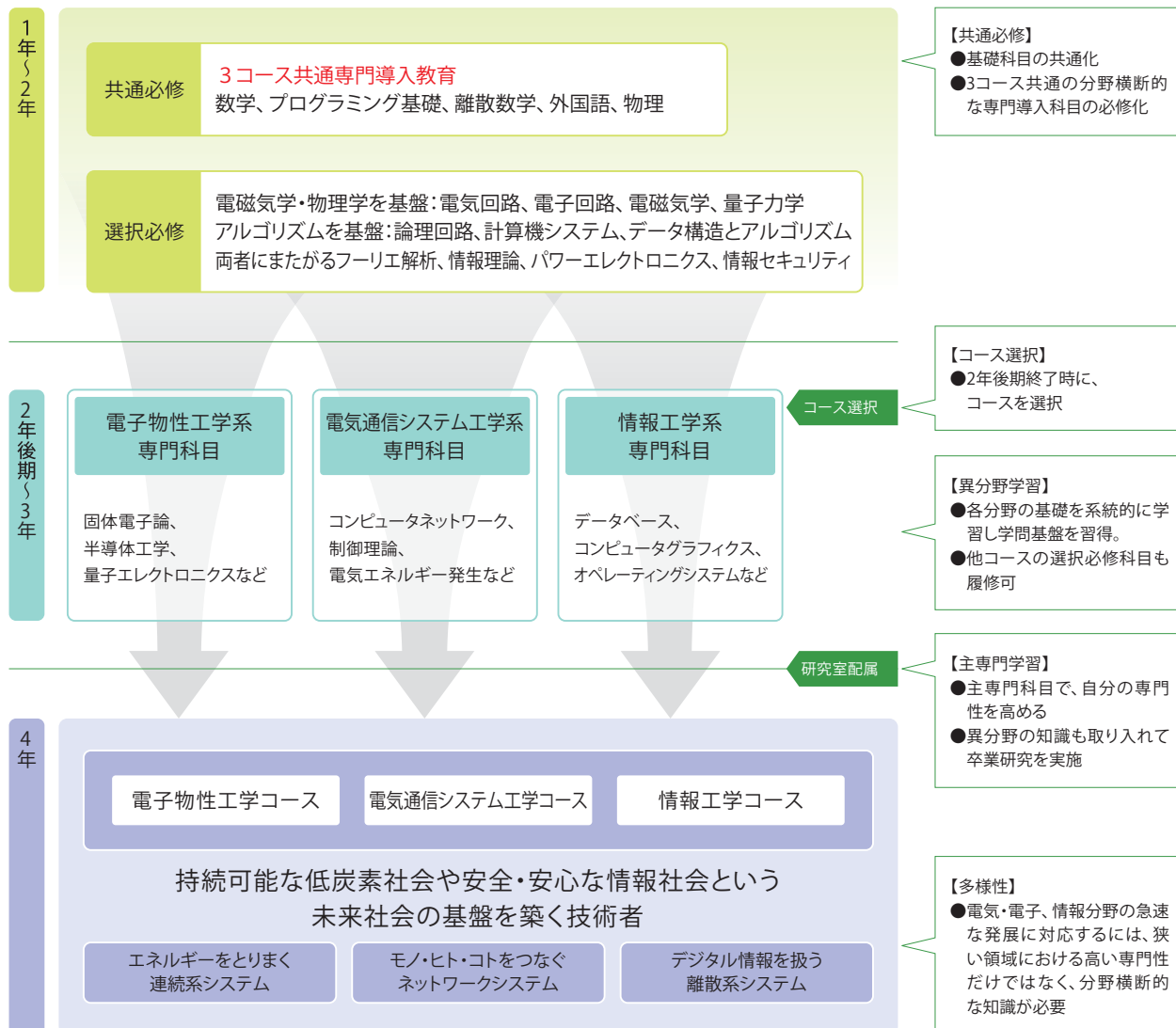
石丸大樹さん 電気・電子工学科4年次 三重県立松阪高等学校出身

電気・電子の知識を活かし 興味のあることを追求する

1・2年次の授業は、応用へ進むための基礎づくりが中心。実験では座学で学んだ原理を現象として目の当たりにすることで知識を深めています。半導体で大きな電力を制御するパワーエレクトロニクスについて深く学びたいため、そのベースとなる電子の勉強にも力を入れています。

大学では、興味を持った学問と技術をとことん追求したいです。福井大学には、そんなやる気に応じてくれる先生と環境があり、フルに活用しないのはもったいないですから。

□教育コンセプト



内野峻平さん 博士前期課程 情報・メディア工学専攻2年 愛知県立旭野高等学校出身

デプスカメラとカラーカメラを使い なめらかな3次元映像をつくる

私の研究テーマは3次元情報処理です。デプスカメラで獲得した3次元位置情報から平面領域を認識し、そこにカラーカメラの色を貼りつけることにより、第3視点にあるカラーカメラの位置と姿勢情報を推定することを目的としています。研究では実際にサッカー場等で撮影をし、サンプル映像を獲得します。

研究で成果を上げるためには教科書の知識はあくまで基本。先輩からプログラミングを教わったり、論文を読むなど工夫しながら情報を得る大切さも学びました。